

# 住民の健康モニタリングサービス

## ミツフジと福島県川俣町が実証事業

ウェアラブルIoT(モノのインターネット)製品・サービスのミツフジが、高齢化や医療費問題など社会課題に挑んでいる。2月、福島県川俣町の住民を対象に「健康モニタリングサービス」の実証事業を始めた。住民の生活データをモニタリングして「安全・安心なまちづくり」を支援する。今後、データを活用して健康状態に応じた様々な商品・サービスの開発につなげ、「町に収益を生み、還元する」考え。関心を持つ企業の参画を地元中心に呼びかけ、効果的に事業化を目指す。将来的には、自治体の課題解決モデルとして、「日本全国、世界へ展開していきたい」と意気込む。(小堀真嗣)

## ウェアラブルIoT活用

管理できるのいい。ストレス値も減った」という。ウェアの締め付けが気になり、着用の継続を断る参加者も一部で見られたが、こうした意見を素早く製品・サービス改善につなげる。健康モニタリングサービスは、同社が開発したインナーウェア型のウェアラブル端末を使い、着用者の体調を見守るもの。医療機関との連携も視野に入れ、着用者の体調の変化を検知する「オンライン診療ができる安全・安心のネットワーク」を構築する考えだ。



2度目の実証期間を終え、住民から製品やサービスについて意見を聞いた。《メモ》健康モニタリングサービス実証事業は、国が推進する政策の一環。福島県浜通り地域の産業復興の早期実現を目指す「福島イノベーション・コースト構想」の重点とされる分野で、地域振興につながる実用的な開発に対し、経費の一部が補助される。重点分野はロボットやエネルギー、環境・リサイクル、医学などで、ミツフジは医学分野で採択された。同社にとって川俣町の西部工業団地にウェアラブル製品・サービスの研究開発・量産を一貫でできる自社工場を立ち上げた。1月に発表した医療機器認定の製品は、医療機器製造事業所として登録された同工場が生産している。



参加者の意識醸成を目的とした、実証事業の開幕式

「自主作成したもの」経済的、社会的、環境的な観点からの取り組みと主要な結果を説明している。併せて、サステイナブルな取り組みを前面に出した初のブランド「H. O. P.」を発表した。リサイ

## ユニコ、一気通貫体制で成果 JALの新制服受注

ユニフォームメーカーのユニコ(東京)は、日本航空(JAL)の客室乗務員および地上接客スタッフに2020年4月から着用する新しい制服を受注した。「エズミ」のデザイナー江角泰俊氏による制服自体のデザインや実用的な機能性はもちろん、企画提案から生産管理まで一気通貫の対応力が評価されたという。同社は一昨年、親会社の伊藤忠商事から営業機能を移管し、企画機能も増強。体制を変えて臨んだ一大案件で受注し、手応えを得た。



体制を変えて臨んだ一大案件を勝ち取った。ユニコは、エズミのデザイナー江角泰俊氏による制服自体のデザインや実用的な機能性はもちろん、企画提案から生産管理まで一気通貫の対応力が評価されたという。同社は一昨年、親会社の伊藤忠商事から営業機能を移管し、企画機能も増強。体制を変えて臨んだ一大案件で受注し、手応えを得た。

の流線型を表したシフォンのパルンスリープが特徴。「この航空会社にもないデザインをやりたい」という江角氏の考えを象徴する仕立だ。通常、機能・物性に課題があるものを、制服では珍しい。例えは3列シートの奥の乗客に食事を提供する際に袖が手前にある食べ物に付かないか、腕を上げた時に突っ張らないか、シフォンでは強度が低くないかなど問題点があったが、有力なパートナーとして知られる新山昭子氏の協力も得て、「最終プレ

19年6月化学繊維生産

(単位: 千トン)

品名	生産高	前年同月比
セルロース計	14,639	(▼2.4)
ナイロンF	5,487	(▼21.0)
アクリルS	10,671	(▼8.0)
ポリエステルF	9,336	(▼6.6)
ポリエステルS	7,474	(▼3.4)
ポリプロピレンF	2,690	(▼43.2)
ポリプロピレンS	5,196	(▼11.8)
その他	13,554	(▼4.1)
計	54,408	(▼10.1)
合計	69,047	(▼8.6)

F: フィラメント S: ステープル

ゼンまでの3カ月という短期間で数百点のサンプル作成を繰り返して、課題をクリアした。スカーフにもこだわった。とりわけ地上接客スタッフ用は約20色を使った手書きの花柄のデザインとともに、多様な巻き方を提案し、独自性を訴求した。デザインと機能面のほか、コソで強調したのは「一気通貫の対応力」(営業本部プランニング・マネージャー兼MDの長谷川泰子)という。具体的には伊藤忠グループの商社機能、営業、企画、生産管理のそれぞれの機能を持つ専門メーカーとしての強みを打ち出した。

ポリプロピレン長繊維「パイレン」値上げ 三菱ケミカル 三菱ケミカルはポリプロピレン長繊維「パイレン」を10月1日出荷分から値上げする。値上げ幅は1.5あたり50円。原油・ナフサ価格上昇で主原料のポリプロピレン樹脂の価格が上昇。副原料、燃料価格、物流費も高騰し、事業の採算を圧迫しているためとしている。

## マテリアル京都

クリエイターの物作りを支援するマテリアル(MTRL)京都(運営)は、京都府の各自治体や企業にウェアラブルテクノロジーに焦点を当てたプレゼンテーションイベント「マテリアルミートアップ」を開いた。グンゼのニット配線、タイオン(名古屋市)

のインナーダウンなど5社がプレゼンし、予定を上回る55人が参加した。MTRLは、グローバル展開する物作り工房「ファブカフエ」のメンバーで、京都、東京、渋谷、香港にある。レーザーカッターや3Dプリンター、ミシン、刺繍機などを備え、デジタル工作機械を使ったクリエイ

タイオンは、インナーダウン「タイオン」の新商品で、中に入ったカーボンシートを通過して温める「タイオン」エクストレームを紹介した。胸のボタンを押すことで表示が赤(60℃)、白(50℃)、青(40℃)と変わり、任意の温度を設定できる。販売はスタートしているが、今後、協業などで機能向上を目指したいという。

## プレゼントクリエイターを支援

タイの物作りを支援する。クリエイター、エンジニア、企業などをつなげるイベントも行っており、マテリアルミートアップもその一つ。今回は「ウェアラブルテクノロジー」で、最高にちょうどいい「を実現する」をテーマにした。

タイオンは、インナーダウン「タイオン」の新商品で、中に入ったカーボンシートを通過して温める「タイオン」エクストレームを紹介した。接触冷感、遮

熱、高強度、摩擦低減といった機能のバリエーションを揃え、ウェアの最適な部分に貼り付けて使える。コスモポリタンは塗布部分がヒーターになるカーボン塗料「カーボ・イサム」で、融雪用途や椅子のヒーターングといった採用例、衝立で空間を温めるコンセプト提案などを行った。このほか、丹後産地の若手が絹織物の魅力や現状、若手グループの取り組みについて話した。

訂正 30日付「確定名古屋、エコ対応の開発強化」の記事で、あつまるホールディングスの工場所在地が「熊本市」とあるのは「熊本県山鹿市」の誤りでした。訂正します。

# 次の売れ筋が、分かる。2020年春夏 織研レディストレンド

早割 2019年8月2日 までにお申込みいただくと 一般(1名様・税込):12,000円→ 11,000円(税込)